

鎌倉の音楽家たちと第1次鎌倉交響楽団

鎌倉にオーケストラを そして鎌倉を音楽の街に

戦火の跡が続く東京から鎌倉に疎開していた音楽家たちを中心にして、昭和 21年(1945)にプロ・アマ混成の第一世代の鎌倉交響楽団が結成されました。構成メンバーには当時の日本を代表するクラシック音楽家たちが含まれています。指揮には尾高尚忠氏。当時NHK交響楽団などを指揮し、NHK尾高賞にその名を残しています。尾高氏のフルート小協奏曲はこの鎌響で世界初演されました。

第一次鎌響のメンバーたち

ヴァイオリン(以下敬称略)

江藤俊哉(その後カーチス音楽院に学びわが国を代表するヴァイオリニストとなる)

橋本國彦(作曲家、ヴァイオリンと指揮)、多野忠興、岩本真理、岩淵龍太郎、桑沢雪子、夏目純一、伊達良、小林武史、

ヴィオラ

河野俊達、松浦君代、小森英正、

チェロ

斎藤秀雄(桐朋学園創始者の一人、指揮法教授のパイオニア)

ティンパニ

矢代秋雄(のち東京芸大教授、戦後日本を代表する作曲家となるが夭折。鎌倉市歌を作曲。)



尾高尚忠
指揮



江藤俊哉
ヴァイオリン



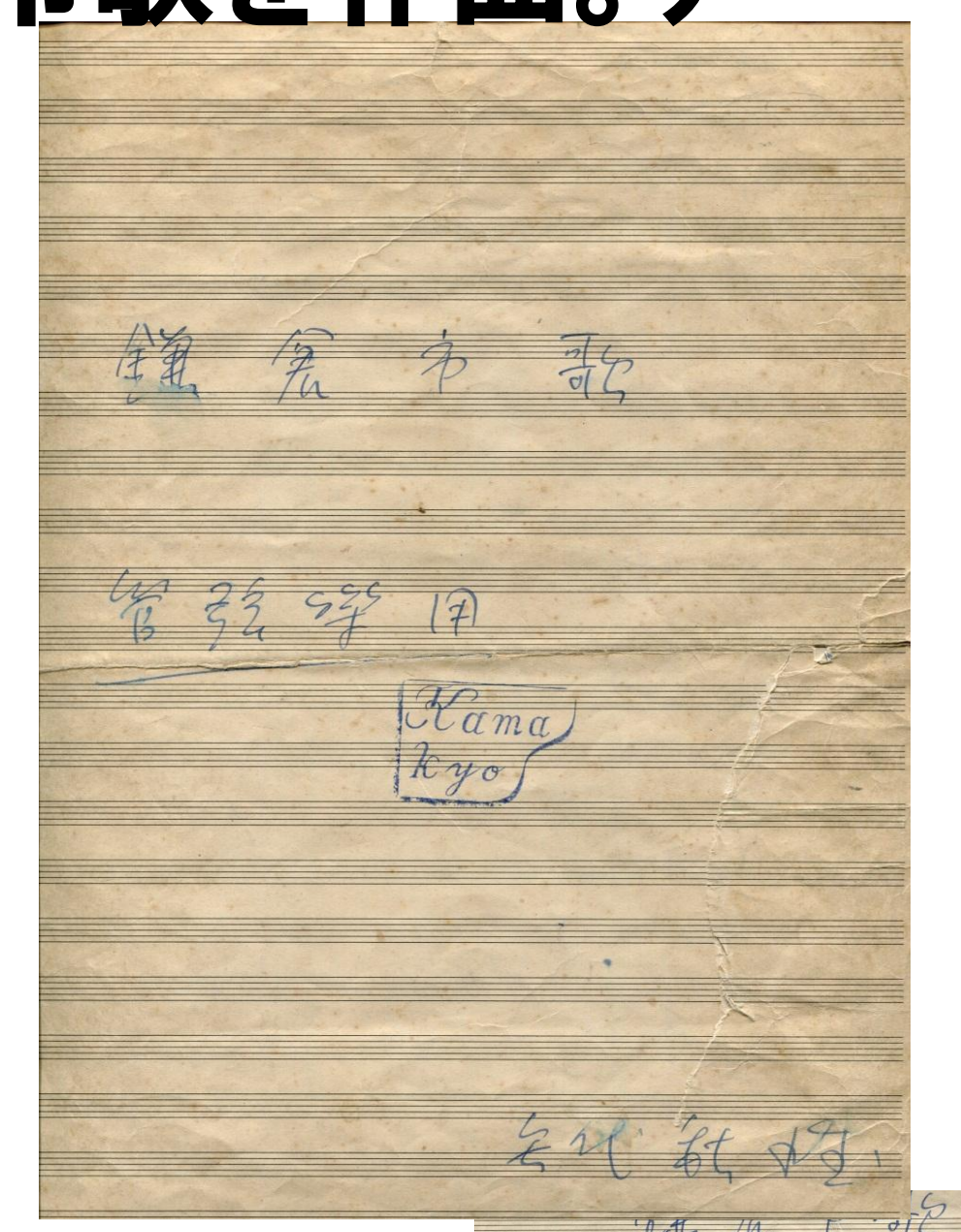
橋本國彦
ヴァイオリン



斎藤秀雄
チェロ



矢代秋雄
ティンパニ



鎌倉市歌総譜
矢代自筆
鎌響 蔵

現鎌響とのつながり

市内の小学校講堂で演奏会を行い、井口基成がベートヴェン、安川加寿子がモーツァルトのピアノ協奏曲を演奏しています。しかし、世の中が落ち着くにつれてメンバーたちは東京で活躍の場を得ました。現鎌響の前団長日比谷平一郎氏らは第1次鎌響でも活躍しています。当時の団員、平井哲三郎氏は「このオーケストラは昭和26年頃で終わりますが、その後鎌倉在住のアマチュアの方々が、あとをついで今日その名がある事は大変嬉しい事です。」と記しています。

朝日ジュニアオーケストラ鎌倉教室

その後鎌倉に交響楽団はなかったのですが、昭和 31 年朝日ジュニアオーケストラが開設され、福井孝一さんが鎌倉教室の室長に就任されました。ここには第1次鎌響のメンバーなど大人も加わっていて、現在の鎌響の創設に連なっています。

そして朝日ジュニアで活躍していた人々を含めて現在の鎌響が創立されるときには、福井さんが大きな活躍をされました。福井さんを第二次鎌倉交響楽団の委員長(当時は団長をこう呼んだ)とし、伊澤龍作氏、当時鎌倉市役所に勤められていた服部甚蔵氏、初代指揮者の東清蔵氏らの努力により第1回の定期演奏会開催にこぎつけることになったのです。

クラシック音楽を文化都市鎌倉に そして広く世の中に

現在の「鎌響」の誕生

昭和38年(1963年)、第2次鎌倉交響楽団が誕生しました。音楽評論の草分け、ロンドン王立音楽院にピアノを学んだ野村光一氏が発起人となり、団に残された設立趣意書には今日出海(初代文化庁長官)、小林秀雄(文化勲章受章)の両氏などこの地に住んだ文化人のサインが見られます。



今日出海



小林秀雄

海軍軍楽隊出身の東清蔵氏を指揮者とし、鎌響の実際の運営には、朝日ジュニアオーケストラ室長でもあった福井孝一氏(委員長、当時団長をそう呼んだ)、鎌倉市役所勤務の服部甚蔵氏、そして日本への西洋音楽の導入役となった伊澤修二(1851-1917)の甥で、元関東特殊鋼重役でのちに鎌響団長となる伊澤龍作氏が大きな働きをしています。鎌倉市から当時としては破格の100万円という助成金を得ています。福井さんは母方の祖父が麻布学園創始者、江原素六で幼少時から豊かな西洋音楽の環境で過ごされました。山田耕作などと親しく、三井物産社員として大正末期のニューヨークに5年間滞在されマーラーが去ったあとのニューヨークフィルハモニックなどをよくご存知でした。後に鎌倉市の教育委員に就任され関連団体の鎌響を辞任されるまで初期の鎌響に大きな貢献をされました。清泉女学院理事として、また光明寺に伝わる声明の保存などの事業でも鎌倉のために尽くされています。また名スプリンターで一時200メートルハードル日本記録保持、東京オリンピックの委員もされ、スポーツ界の恩人でもあります。



創立以来の現役団員大内達郎さんの結婚式での福井孝一氏ご夫妻演奏会では常に入口で案内に立たれた。第2回以来の現役団員は団長の山本賢二さんです。



恩人伊澤龍作氏と服部甚蔵氏(右)練習場の御成小音楽室で後ろに鎌響のティンパニ

市民待望のオーケ 誕生と発展

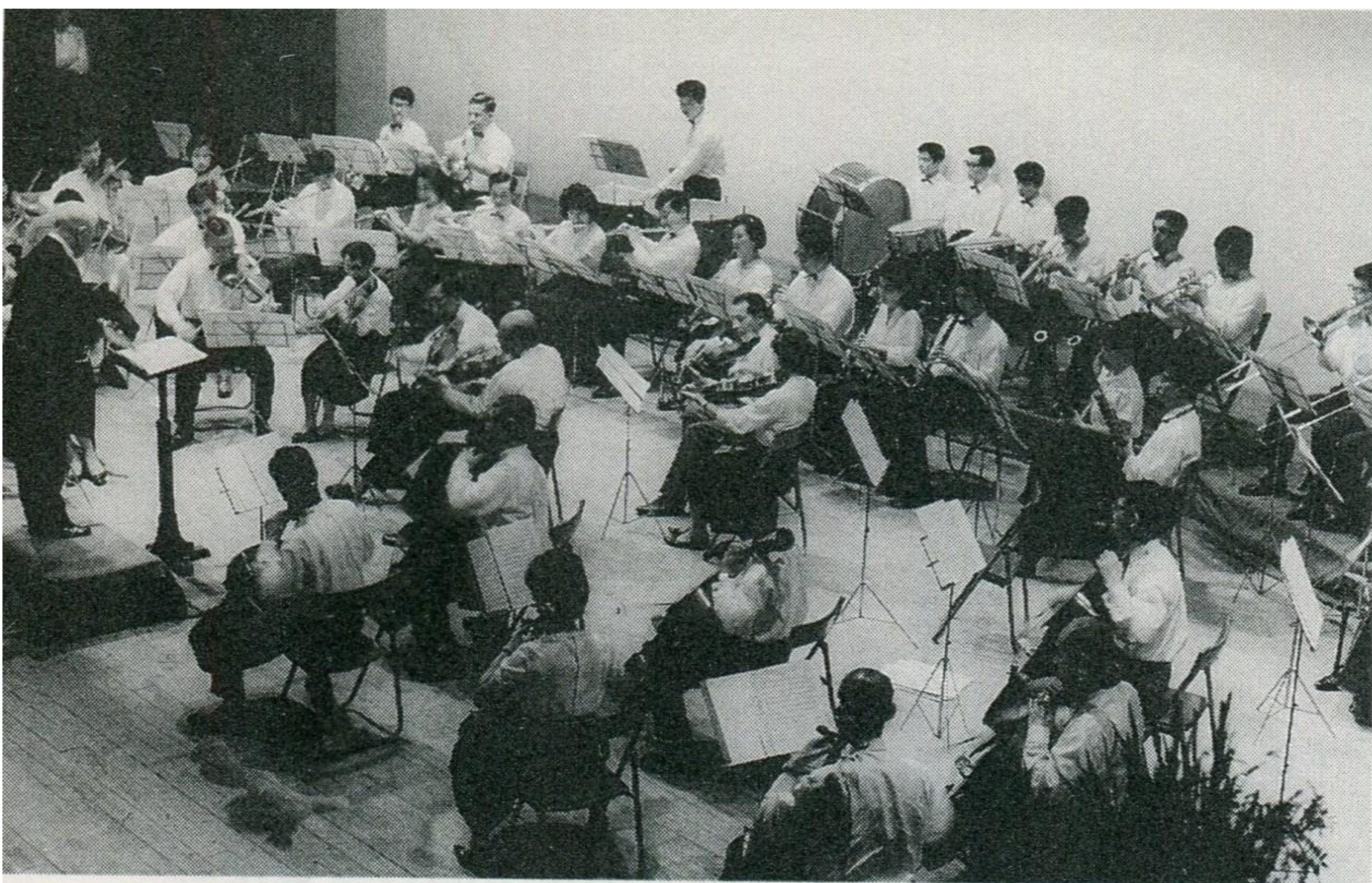
鎌響創設のころ—1963年 昭和38年—の世の中と鎌倉

翌年に東京オリンピックを控えて日本が本格的な経済成長期に入るところでした。

- 1月26日 若宮大路にあった市庁舎が全焼。
- 6月5日 豪雨のため柏尾川が氾濫し大船地区浸水。
- 6月15日 第1回の第2次鎌倉交響楽団の演奏会が開かれました。

当時の団員で指揮東清蔵氏のご子息、東博之さんは次のように記しています。

「指揮は私の父、私はクラリネット。最初はメンバーが足りず大勢のエキストラを頼まなければならなかった。会場は鶴岡八幡宮の一の鳥居の脇にある市民会館(公民館)。多目的ホールで反響板もなく舞台の天井が抜けていて、まるで沼の底で演奏しているがごとく響きが良くなく、演奏栄えなどするはずもなかったが観客は満員だった。市民待望のオーケストラができたのだ。」



63. 6. 15 (S. 38) 結成記念演奏会 (東清蔵指揮)



東氏が軍楽隊員として乗船した
皇太子訪欧時の旗艦香取
左は反響板もない公民館分館で
鎌響第1回定期を指揮する東氏。

- 7月16日 フLOWERセンター大船植物園開所。
- 8月19日 昭和9年久米正雄、大仏次郎発案で始まった鎌倉カーニバルの最終日。
- 9月1日 清泉女学院が、今年11月開城500年を迎える玉縄城跡に新築移転。
- 11月9日 国電鶴見事故 死者161名、負傷79人、鎌倉市在住の死者31名、重症者多数。
この時、終戦直後光明寺で鎌倉アカデミアを開き、事故当時は横浜市立大学学長の三枝博音氏も亡くなりました。鎌倉アカデミアでは矢代秋雄氏も教えていました。
- 11月22日 ケネディー大統領暗殺。
- 12月12日 この芸術館の場所にあった松竹大船撮影所で活躍した小津安二郎監督死去。



鶴見線事故



質問に答えるJ.F.ケネディー



北鎌倉の小津安二郎

このような大事件の起こった1963年は、世の中、そして鎌倉にとって一つの転換期でした。戦後の混乱期を乗り越えて、この時期に鎌倉の方々が音楽の振興をかかげて行動されたことは記念すべきことだと言えます。

鎌響の指揮者たち

63年6月15日に第1回の第2次鎌倉交響楽団の演奏会が開かれますが、1963年11月17日の第2回までは中田豊太郎氏と東清蔵(1975没)氏が指揮しています。東氏は皇太子(後の昭和天皇)訪欧時の旗艦「香取」に軍楽隊員として乗船し自身もクラリネット奏者でした。また青島攻撃にも参加しますがこの時のドイツ人捕虜たちが四国坂東で日本最初の第九を演奏します。軍楽隊には弦楽もあり日本のオケには軍楽隊出身の多くの奏者が参加されていました。除隊後は湘南地方で広く音楽の指導に当たられて当時横須賀市にあった栄光学園や湘南中学(現湘南高校)でも指導され、鎌響の結成と指揮は先生の最後のお仕事となりました。1975年1月14日に永眠されますが、神奈川県は文化功労章を贈って先生の偉業をたたえました。1975年5月25日、鎌倉交響楽団第25回定期演奏会は、鎌響生みの親、育ての親、東清蔵氏追悼として鎌倉市中央公民館で行われ、吉水洋指揮で

ウェーバー 歌劇「魔弾の射手」序曲
モーツァルト ピアノ協奏曲21番ハ長調 ピアノ 間瀬すみ
ベートーヴェン 交響曲第3番「英雄」変ホ長調 が演奏されました。

前田幸市郎氏

指揮 古谷誠一氏 ヴァイオリン天満敦子氏



85. 11. 10 第46回定期演奏会



92. 5. 10 第59回定期演奏会
(チャイコフスキー Vn 協奏曲 独奏天満敦子)

1964年第3回には東氏と前田幸市郎氏を指揮者に迎え、64年秋の定期から67年の第10回定期までは64年11月病に倒れた東氏に変わって前田氏が一人で指揮をし、68年春の定期には高橋誠也氏を迎え前田氏と共に指揮を行っています。

前田氏は、加賀藩前田家のご出身で丁寧な言葉で指導され、また宗教曲や合唱曲の造詣が深く流れるような指揮で団員の信頼を集めていました。また山形大学教授として音楽教育にも尽くされました。

その後20歳代の古谷誠一氏(現名古屋芸術大学教授)を指揮者に迎えて、前田、古谷の両氏で、指揮されましたが、前田氏没後、古谷氏が一人で指揮されました。古谷氏は作曲を矢代秋雄、指揮を小沢征爾などに学び、鎌倉での第1回第九の演奏の際には自作が演奏されています。古谷氏は意欲的に鎌響のレパートリーを広げ、今日の鎌響の基礎を作るのに貢献されました。芸術館完成記念第九、東京駅のエキコン出演も古谷氏の時代でした。その後団員の討論で常任指揮者を置かず、演奏会ごとに指揮者を招聘する体制を現在まで続けています。招聘している指揮者はいずれも若手でアマチュアオケのことをよく理解された方々で今日の鎌響の発展に寄与されてきました。

とうきょう エキコン

こう呼ばれるコンサートが1987年7月から2000年11月まで246回にわたって東京駅、ドームの下でおこなわれました。

1988年9月13日火曜日 第59回には 古谷誠一指揮 鎌倉交響楽団 が

独奏 フルート 湯川和雄、ハープ 杉山敦子
モーツァルトの フルートとハープの協奏曲

などを演奏しました。

これは作曲家の故園伊玖磨氏が当時の朝日グラフに連載中の「パイプのけむり」で「東京駅の風格あるドームでコンサートをしたら素晴らしいのではないか」と記したことから始まったものですが、鎌響史の1ページをかざる出来事でした。



88. 9. 13 JR 東京エキコンに出演 (古谷誠一指揮)

鎌響と第九

創設期の鎌響団員にとって宇宙における人類の希望を歌った第九を演奏できるオーケストラにしたい、演奏できる会場がほしいというのが切なる願いでした。まず鎌倉でただ一つのコンサート会場、旧中央公民館分館のステージに反響板をつけようという運動が起こり、1977年にやっとその願いがかなうのです。1982年、鎌響のそして鎌倉で最初の第九は、鎌響創立20周年を記念して反響板のついた中央公民館分館で前田幸市郎氏指揮で演奏されました。その後も公民館分館で演奏会を続け、団員の仕事の一つはこの反響板を綱で吊り上げてステージの上にかぶせることでしたが、収納されていた上質のベニア板によるパネルが盗難に会い舞台の側方の反響板は失われてしまいました。

鎌響創立20周年の第九鎌倉初演 前田幸市郎指揮 1982.10.27-28



反響板設置成功と文化会館建設運動を報ずる号外 昭和52年(1977年)

鎌倉初の第九を報ずる広報かまくら

われらの願い

市民が待望している「文化会館」の早期実現は当分むずかしいようだから、せめて今の中央公民館の音響効果を少しでもよくするために、反響板を取付けてもらいたいという、われわれの小さな願いが、この程やっとのりしました。ことし十月、舞台用のパネルとホリソントができたのです。文化祭の秋にふさわしいニュースとしてお知らせします。しかしまだ喜ぶには当りません。われわれの念願は一日も早く文化都市にふさわしい「文化会館」をつくることあります。

市がわては去る四月、社会教育施設(調査・研究)費二〇万円を計上し、新年度から五ヶ年計画で市民ホールの文化施設を建てる案を検討しているようです。

われわれはユーザーの立場から、この計画が完璧に成功する日まで、弛まなき努力をつけて当局にプレッシャーをかけようではありませんか。

昭和五十二年・仲秋

鎌倉文化施設建設促進協議会
会長 町田 敬 二

(会報号外)



文化会館建設運動 そして鎌倉芸術館完成記念の第九

団長の伊澤龍作氏、創立以来の団員で鎌倉市役所勤務の服部甚蔵氏らと鎌倉音楽クラブなども参加した鎌倉文化施設建設促進協議会が文化ホール建設運動を続けました。1993年、松竹大船撮影所の敷地に鎌倉芸術館が完成。鎌響と市民の方々による第九が芸術館開館記念の第62回定期演奏会で演奏されました。指揮は古谷誠一氏。超満員の聴衆を前にして東京から聴きにいられた方を断るという事件もおこりました。その後2011年末までに鎌響は計15回の第九を演奏しています。これは服部甚蔵氏が所蔵されていた第九のスコアです。芸術館が完成し、第九が鎌響によって演奏され、しかも15回も演奏されたことを見ないで亡くなられた初代指揮者 東清蔵氏と初代団長 福井孝一氏に今回の50周年記念行事を捧げたいと存じます。



福井さんのご令嬢工藤瑞子さんは、50周年のオープンガラコンサートにいられて次のようなメッセージを下さいました。

ファミリー・コンサートのご招待状、有難うございました。昨日は、娘と孫と一緒に伺い、たのしい一時をすごささせていただきました。父も隣の席で大きな拍手をお送りしていたように思います。素敵な音楽会をありがとうございました。御礼まで。

3月4日 工藤瑞子

左は服部甚蔵氏旧蔵の第九スコア

姉妹都市萩での第九

第九は姉妹都市萩でも鎌響と萩の合唱団による演奏が1999年以来3回行われ、第2回以降は鎌倉での「日本語による第九」に呼応して萩でも日本語による演奏が行われています。萩の方々も約束されたこともあって、3回目の演奏後には「ふぐパーティー」を開いてくださり親善を図ることができました。芸術館での第九にも萩の方々も合唱に参加されています。将来は平和のメッセージである第九を近隣諸国で、その国の方々と共に演奏するのが夢の一つです。



萩市民館の入口



会場内の花 菊 椿 そして竹



ふぐパーティーでの萩の方々のご挨拶



こどもたちの 「かまきょう」

左は2012年の幼稚園協会演奏会

鎌響初代団長の福井孝一さんは定期演奏会にご自分で多数の入場券を購入されて恵まれない子供たちを招待されていました。

鎌響の開く演奏会には保護者が責任を持つ限り、小児の入場もお断りしていません。でも一般の方からはお叱りをうけることもあります。

今回の50周年記念、最初に行われたファミリーコンサートは、鎌倉市の依頼により夏休みに市内の小学校をまわった巡回演奏会に始まっています。今年ファミリーコンサートでは市内の中学生槇和馬さんによるショパンのピアノコンチェルトが演奏されました。

鎌響を聴いて多くの若者が音楽の楽しさ気高さを知り、またプロの音楽家になった方も多数出ています。インスタントコンダクターに出演したことのある大勢の方たちの中でロンドン王立音楽大学に留学してプロのピアニストになった方もいらっしゃいます。

鎌倉私立幼稚園協会のご依頼で年長組の園児を対象とした音楽鑑賞会は40年以上にわたって毎年行われてきました。最初は旧京浜女子大講堂などで、最近は芸術館で日曜日に二回演奏しています。鎌倉で幼稚園に通ったことのある50歳以下のほとんどの方が生涯で最初のフルオーケストラの演奏を「かまきょう」で聴いておられます。

第1回の幼稚園協会演奏会は昭和46年(1971年)1月17日でした。鎌響創設後8年目のことです。指揮は吉水洋氏、クルミ割り人形や未完成等でかなり本格的な曲を演奏していることが分かります。最近では園児の理解できる範囲で本格的な管弦楽曲を演奏し、童謡を編曲したものや、その時にポピュラーな幼児の歌の全員合唱なども加えています。

2012年の幼稚園協会演奏会 指揮山上純司氏
お話は永井邦子氏。永井氏は鎌響のファミリーコンサートや幼稚園協会演奏会のレギュラー司会者。武蔵野音大音楽科出身で明るい人柄、軽妙なお話と豊かな内容の解説で知られています。



大人の鎌響

室内楽演奏会

鎌響の演奏会ごとをお願いしているアンケートに回答をよせて下さる方で圧倒的に多いのはシニアの方々に、実際に鎌響演奏会のレギュラーメンバーにもシニアの方が多いのです。

シニアの音楽通にひそかに知られているのが春秋二回の団員による無料の室内楽演奏会です。2012年春の室内楽演奏会は芸術館小ホールで行い、多くの方々に聴いていただきました。団員が日ごろ仲間と一緒に練習している3人以上の室内楽で時には日ごろ聴けないような珍しい曲も演奏されますが、有名な弦楽四重奏曲なども演奏され静かにファンが増えているコンサートです。年を追うごとに向上している鎌響の演奏家のレベルを反映しています。

鎌響の合宿



75. 4. 26~28 朝霧高原第3回合宿



合宿はオケ生活の最も楽しい時です。昨年は地震で中止になりましたが、定期でG線上のエリアを演奏し会場と団員からの義捐金を日本赤十字社にお贈りしました。

上は朝霧高原と千葉海岸での合宿。左は今年の御殿場YMCA東山荘での合宿風景です。この大木が生い茂り100年の伝統をもつ東山荘は、旧秩父宮別邸の東にあり、朝起きると眼前に富士がそびえて、近年鎌響合宿の最高の場所となっています。



From KS050 toward KS0100 鎌響の将来を目指して

今日は鎌倉交響楽団50周年の頂点ともなる「復活」の演奏会にお出でくださり誠にありがとうございます。オーケストラの運営ほど難しいものはないと言われてはいますが、この50年が可能になりましたのはひとえに皆様方の温かいご支持と、行政のお力添えによるものであります。そして団内では歴代の指導者たちが賢明な舵を取り、団員一人一人が自分のできることで無私の奉仕を続けてまいりました。

次の50年に向かう時、これまでの世代を超えてアマチュアオーケストラとして発展するにはいくつかの課題が待ち受けております。そして何人かの団員はおそらく100周年を祝うことになるでしょう。

プロの先生方のご指導を大切にして技術を磨いて行くこと、そして自分自身の芸術性を高めて行くことは当然のことです。

現在の鎌響は建物ではなく、熱意のある団員の集合体です。有形の資産で最も大きいものはコントラファゴット、バスクラリネット、数個のティンパニ、ドラムなどの楽器と膨大な楽譜類、楽器置き場にもなっているワゴン車などです。第一小学校に置かせて頂いている5本のキャビネットには団創立以来の全プログラム、全楽譜が所蔵されていますが、中には矢代秋雄による自筆の鎌倉市歌の管弦楽総譜とパート譜も含まれております。これは鎌倉市の市宝とも言えるものです。

また練習所の確保も最近ますます抽選がむずかしくなっており、横浜市や逗子市にまで練習所を求めて出向いているのが現状です。さらに鎌倉芸術館を演奏会に使用させて頂く場合にも希望する日の抽選が難しくなっております。

私どもは次の50年に向けて楽器置き場の設置、練習所の確保、また2000人規模のホールでオルガン付き、オペラの上演できるような公的な音楽会場をこの湘南の中心地に建設できるように運動できたらと夢を膨らませています。何卒よろしくお願い申し上げます。